



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 東芝プラントシステム株式会社
 コード番号 1983 URL <https://www.toshiba-tpsc.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 原園 浩一

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 田邊 賢吾

TEL 045-500-7012

四半期報告書提出予定日 2019年8月5日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	52,657	19.6	2,138	26.6	2,007	51.3	726	72.2
2019年3月期第1四半期	44,035	10.3	2,913	225.1	4,125	240.9	2,608	297.5

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 689百万円 (75.8%) 2019年3月期第1四半期 2,847百万円 (193.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.45	
2019年3月期第1四半期	26.77	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	263,569	155,519	58.9
2019年3月期	274,290	156,852	57.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 155,120百万円 2019年3月期 156,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		21.00		21.00	42.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		26.00		26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,000	2.8	6,800	23.0	7,000	35.5	4,700	33.3	48.25
通期	230,000	5.8	18,500	9.1	19,000	14.9	12,800	10.8	131.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	97,656,888 株	2019年3月期	97,656,888 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	245,099 株	2019年3月期	245,099 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	97,411,789 株	2019年3月期1Q	97,412,092 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	… 2 ページ
(2) 財政状態に関する説明	… 3 ページ
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	… 3 ページ
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	… 4 ページ
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	… 5 ページ
四半期連結損益計算書	… 5 ページ
第1四半期連結累計期間	
四半期連結包括利益計算書	… 6 ページ
第1四半期連結累計期間	
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	… 7 ページ
(継続企業の前提に関する注記)	… 7 ページ
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	… 7 ページ
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	… 7 ページ
(セグメント情報等)	… 8 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益などに支えられ、雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調を維持してきたものの、世界経済の成長鈍化の影響から、輸出や生産に減少懸念がみられるなど、景気の先行きは不透明感を増す状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、2019年度中期経営計画において「①高収益を着実に実現する事業の推進」、「②BCM(※)経営によるイノベーションの追求」、「③CSR経営の推進」を基本戦略として諸施策を積極的に推進しました。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、2019年4月1日付で、国内関係会社を再編し、また、同年6月3日付で、株式会社ファームシップとの合弁会社として、人工光型植物工場における野菜の生産・育成及び販売事業を行う株式会社ベジノーバを設立しました。

この結果、受注高は580億2千万円、売上高は526億5千7百万円となりました。また、利益面につきましては、営業利益は21億3千8百万円、経常利益は20億7百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億2千6百万円となりました。

※BCM (Balanced CTQ Management) とは、企業の経営ビジョンを実現するための、財務やその他経営状況、経営品質を含めバランスのとれた経営を行うための方法論です。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

<発電システム部門>

受注高は、国内の火力発電設備等が増加しました。売上高は、海外の火力発電設備等が減少しました。また、一部海外火力案件の工程遅延による工事費用の増加により経常損失となりました。

<社会・産業システム部門>

受注高は、国内の太陽光発電設備等が増加しましたが、一般産業向け等が減少しました。売上高は、国内の一般産業向け及び太陽光発電設備等が増加し、これにより経常利益も増益となりました。

<その他>

受注高及び売上高ともに、前年同期並みとなりました。

セグメント別の受注高及び売上高等

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年 同期比	売上高 (百万円)	前年 同期比	経常利益 (百万円)	前年 同期比
発電システム部門	30,794	33.5%	21,778	△4.4%	△1,722	—
社会・産業システム部門	27,205	△4.7%	30,859	45.4%	3,732	56.3%
報告セグメント計	58,000	12.4%	52,637	19.6%	2,010	△51.2%
その他	20	△1.2%	20	△1.2%	△2	—
合計	58,020	12.4%	52,657	19.6%	2,007	△51.3%

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から107億2千万円減少し、2,635億6千9百万円となりました。これは主に、未成工事支出金の増加14億6百万円、電子記録債権の増加9億6千7百万円、流動資産のその他の増加18億9千7百万円があるものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少168億4千1百万円によるものであります。

一方、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から93億8千7百万円減少し、1,080億5千万円となりました。これは主に、流動負債のその他の増加45億3千6百万円があるものの、支払手形・工事未払金等の減少89億4千8百万円、未払法人税等の減少27億6百万円、未成工事受入金の減少11億7千8百万円、退職給付に係る負債の減少11億4千7百万円によるものであります。

また、当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から13億3千3百万円減少し、1,555億1千9百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	20,545	19,377
グループ預け金	83,885	85,428
受取手形・完成工事未収入金等	112,551	95,709
電子記録債権	1,783	2,751
未成工事支出金	26,607	28,013
その他	7,164	9,062
貸倒引当金	△251	△239
流動資産合計	252,287	240,102
固定資産		
有形固定資産	6,915	7,158
無形固定資産	197	189
投資その他の資産		
その他	15,172	16,397
貸倒引当金	△282	△279
投資その他の資産合計	14,890	16,117
固定資産合計	22,003	23,466
資産合計	274,290	263,569
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	57,687	48,739
未払法人税等	4,671	1,965
未成工事受入金	24,831	23,652
役員賞与引当金	99	126
完成工事補償引当金	708	630
工事損失引当金	450	557
その他	12,272	16,809
流動負債合計	100,721	92,481
固定負債		
役員退職慰労引当金	27	13
退職給付に係る負債	16,260	15,113
資産除去債務	397	412
その他	30	30
固定負債合計	16,715	15,569
負債合計	117,437	108,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,876	11,876
資本剰余金	20,910	20,910
利益剰余金	124,568	123,248
自己株式	△168	△168
株主資本合計	157,186	155,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41	69
繰延ヘッジ損益	86	48
為替換算調整勘定	317	211
退職給付に係る調整累計額	△1,148	△1,075
その他の包括利益累計額合計	△703	△746
非支配株主持分	369	398
純資産合計	156,852	155,519
負債純資産合計	274,290	263,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	44,035	52,657
売上原価	38,072	47,432
売上総利益	5,962	5,225
販売費及び一般管理費	3,048	3,086
営業利益	2,913	2,138
営業外収益		
受取利息	749	100
受取配当金	11	17
持分法による投資利益	2	0
為替差益	426	-
その他	23	46
営業外収益合計	1,212	165
営業外費用		
為替差損	-	250
その他	0	45
営業外費用合計	0	296
経常利益	4,125	2,007
税金等調整前四半期純利益	4,125	2,007
法人税、住民税及び事業税	1,937	1,700
法人税等調整額	△417	△424
法人税等合計	1,520	1,275
四半期純利益	2,605	731
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,608	726

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	2,605	731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	27
繰延ヘッジ損益	165	△37
為替換算調整勘定	△118	△104
退職給付に係る調整額	187	73
その他の包括利益合計	242	△41
四半期包括利益	2,847	689
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,857	682
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社であったイーエス東芝エンジニアリング株式会社は、当社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅し、また、当社の連結子会社であった株式会社エス・ケー・エスは、当社の連結子会社である東芝エンジニアリングサービス株式会社を吸収合併存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。また、新たに設立した株式会社ベジノーバを連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	発電 システム部門	社会・産業 システム部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,785	21,229	44,015	20	44,035
セグメント間の内部 売上高又は振替高	108	18	127	106	233
計	22,894	21,248	44,142	126	44,269
セグメント利益	1,730	2,388	4,118	6	4,125

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,118
「その他」の区分の利益	6
四半期連結損益計算書の経常利益	4,125

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	発電 システム部門	社会・産業 システム部門	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,778	30,859	52,637	20	52,657
セグメント間の内部 売上高又は振替高	88	21	109	100	209
計	21,866	30,880	52,746	120	52,867
セグメント利益又は損 失(△)	△1,722	3,732	2,010	△2	2,007

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、植物工場事業及び管理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,010
「その他」の区分の利益	△2
四半期連結損益計算書の経常利益	2,007

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結累計期間において、新規で植物工場事業を開始しており、当該事業の開始により報告セグメントに含まれない「その他」を追加しております。また、国内関係会社の再編に伴い、一部の連結子会社の報告セグメントを、従来の「発電システム部門」から報告セグメントに含まれない「その他」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。